

研究者が語る、大阪・関西万博で披露されている技術の魅力！

めばえ適塾

アカデミック・トーク第2回

2025.7.6(日)

”そうだ万博、行こう！”

～今こそ、世界を知るチャンス～

私にとって大阪・関西万博は3度目の万博となります。1度目は1970年大阪万博。当時、小学1年生の私の記憶に残ったのは昆虫が浮き出すフォログラムのついた黄色い迷子のワッペンでした。何で蝶が浮き出すのだろう？2度目は2005年愛知万博。目玉の展示はシベリア凍土から発掘した冷凍マンモスで1億8千年経過しても当時の姿を保った状態で展示されていたのを覚えています。そして大阪・関西万博が3度目となりますが、どんな新しい技術が展示されているのか？あっと驚く展示はどこにあるのか？開幕約3か月経過する大阪・関西万博でも全てを探し切れていません。私もNTT研究所で廃熱を利用価値の高い電気に変換する温度差電池、化石燃料の代替となる水素を多量に貯蔵させる炭素材料の研究開発をしてきたので、万博会場へ行くたびに研究者魂に火がついてワクワク感が高まります。今回のアカデミック・トークは、そんな万博の魅力をおお阪大学の技術と共に紹介します。今こそ、世界を知るチャンス・・・そうだ万博、行こう！



シンドウ カズヒコ
講師：新藤 一彦 先生

略歴：

1991年3月東京工業大学理工学研究科化学専攻を卒業
1991年4月NTT入社以来、研究開発、研究企画、事業プロデュース、大学連携等に從事
1997年2月～2000年3月沖縄新エネ開発に出向、風力発電用鉛蓄電池の開発導入に從事
2012年2月東京工業大学から博士（理学）取得
2018年6月NTT辞職、NTTアドバンステクノロジー入社
2019年10月大阪大学共創機構特任教授
2021年4月大阪大学2025年日本国際博覧会推進室副室長、現在に至る。

時間/ 13:00～15:00※ (現地受付開始12:30)

場所/ 現地とオンライン(Zoom)

現地/大阪大学 感染症総合教育研究拠点

1階大ホール(吹田キャンパス)

Zoom/ミーティングID: 952 4311 3943

参加対象者/どなたでも

(ぜひご友人などにも広めてください！)

※講演前の12:00より現地にて新藤先生を含めたランチタイムを設けます。質問や議論を楽しめる機会ですのでぜひご参加ください(受講生限定！人数が多い場合にはランチ会は抽選になります)。



参加無料

お申し込みはこちら

